

大阪大学における耐震化の状況について



平成22年6月改

学校施設については、官庁施設の総合耐震設計基準（国土交通省）の規程に基づき、**Is値0.7**を学校施設の耐震性能目標として定めている。

第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画（文部科学省）において老朽再生整備が必要な教育研究基盤施設として**Is値0.4未満**の建物を最優先に整備することが整備方針として示された。

Is値

建物のねばり強さに建物形状や経年等を考慮して算定される構造耐震指標であり、その値が大きいほど被災度は小さくなる。

Is値0.4未満：地震により倒壊又は大破の恐れが高い

旧耐震基準の建物

新耐震基準（昭和56年建築基準法改正）以前に建設された建物であり、3階建て以上かつ1,000㎡以上の学校施設については耐震診断を実施し、耐震性能の確認が必要である。

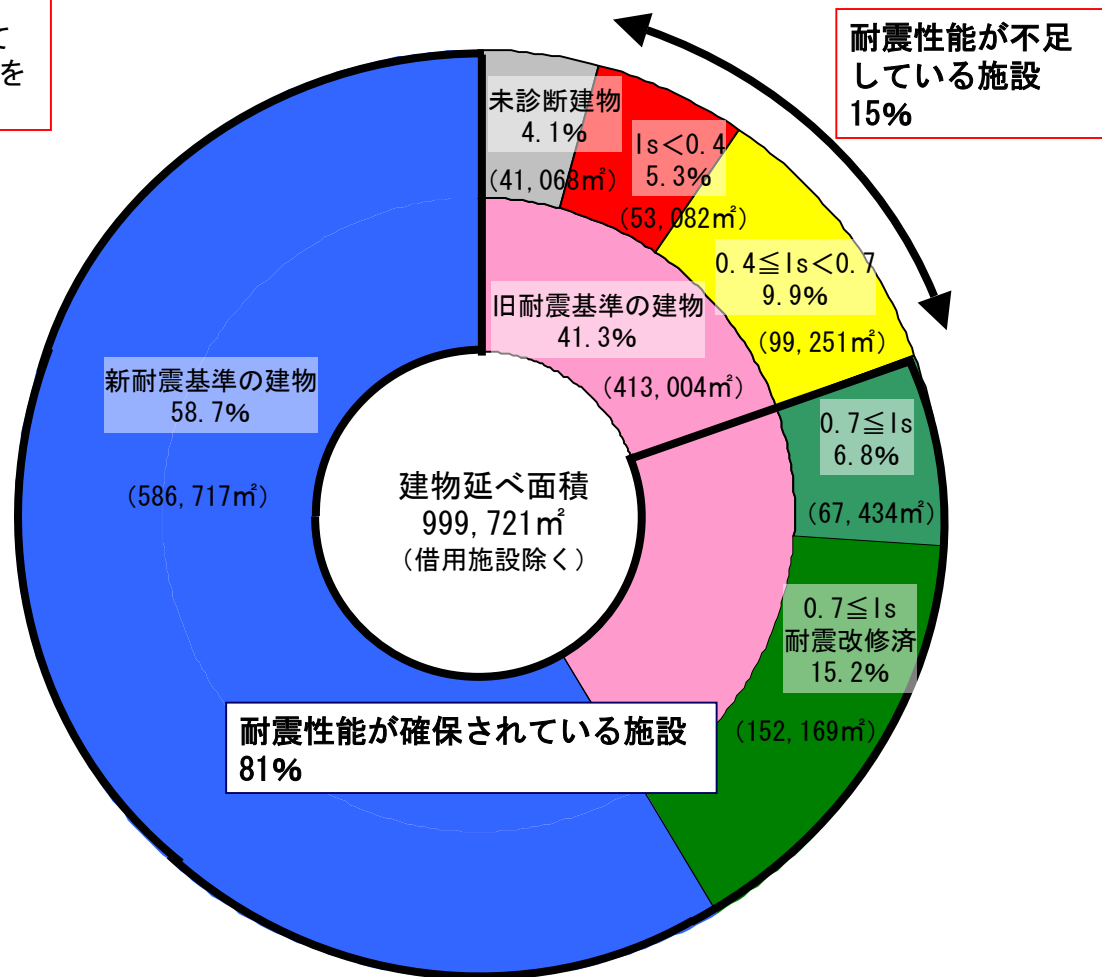
新耐震基準の建物

新耐震基準（昭和56年建築基準法改正）に基づいて昭和57年以降に建設された建物であり、耐震性能は確保されている。

未診断建物

2階建て以下または1,000㎡未満の「建築物の耐震改修の促進に関する法律」耐震診断対象外施設である。

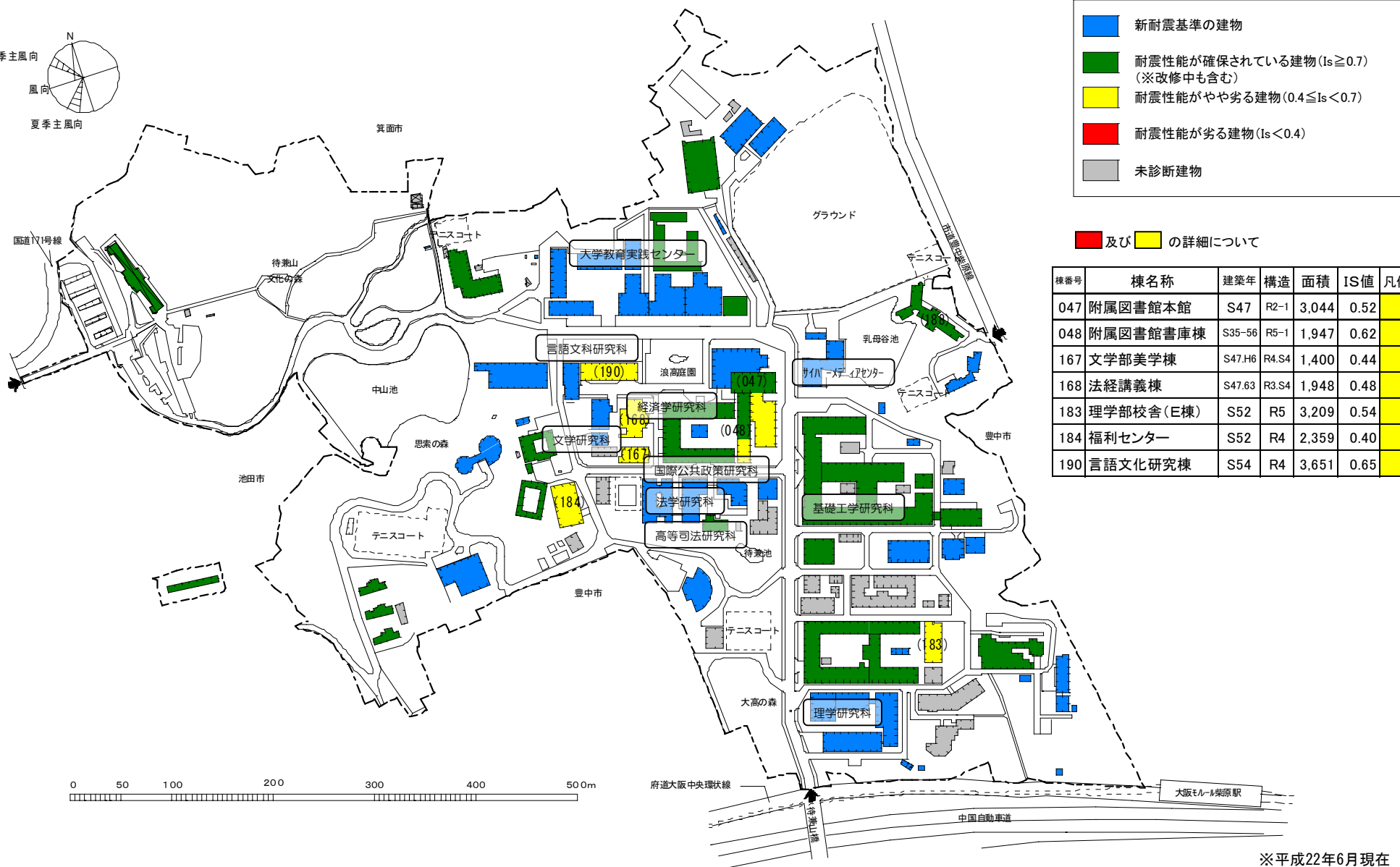
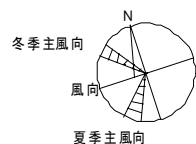
※未診断建物のうち、学生等の利用がある建物は年次的に耐震診断を実施している。



※平成22年6月現在

※予算措置済みの耐震改修事業が完了した場合

豊中団地 耐震化状況図



凡例	
	新耐震基準の建物
	耐震性能が確保されている建物 ($I_s \geq 0.7$) (※改修中も含む)
	耐震性能がやや劣る建物 ($0.4 \leq I_s < 0.7$)
	耐震性能が劣る建物 ($I_s < 0.4$)
	未診断建物

■及び■の詳細について

棟番号	棟名称	建築年	構造	面積	IS値	凡例
047	附属図書館本館	S47	R2-1	3,044	0.52	
048	附属図書館書庫棟	S35-56	R5-1	1,947	0.62	
167	文学部美学棟	S47.H6	R4.S4	1,400	0.44	
168	法経講義棟	S47.63	R3.S4	1,948	0.48	
183	理学部校舎(E棟)	S52	R5	3,209	0.54	
184	福利センター	S52	R4	2,359	0.40	
190	言語文化研究棟	S54	R4	3,651	0.65	

※平成22年6月現在

吹田1・2団地 耐震化状況図



■及び■の詳細について

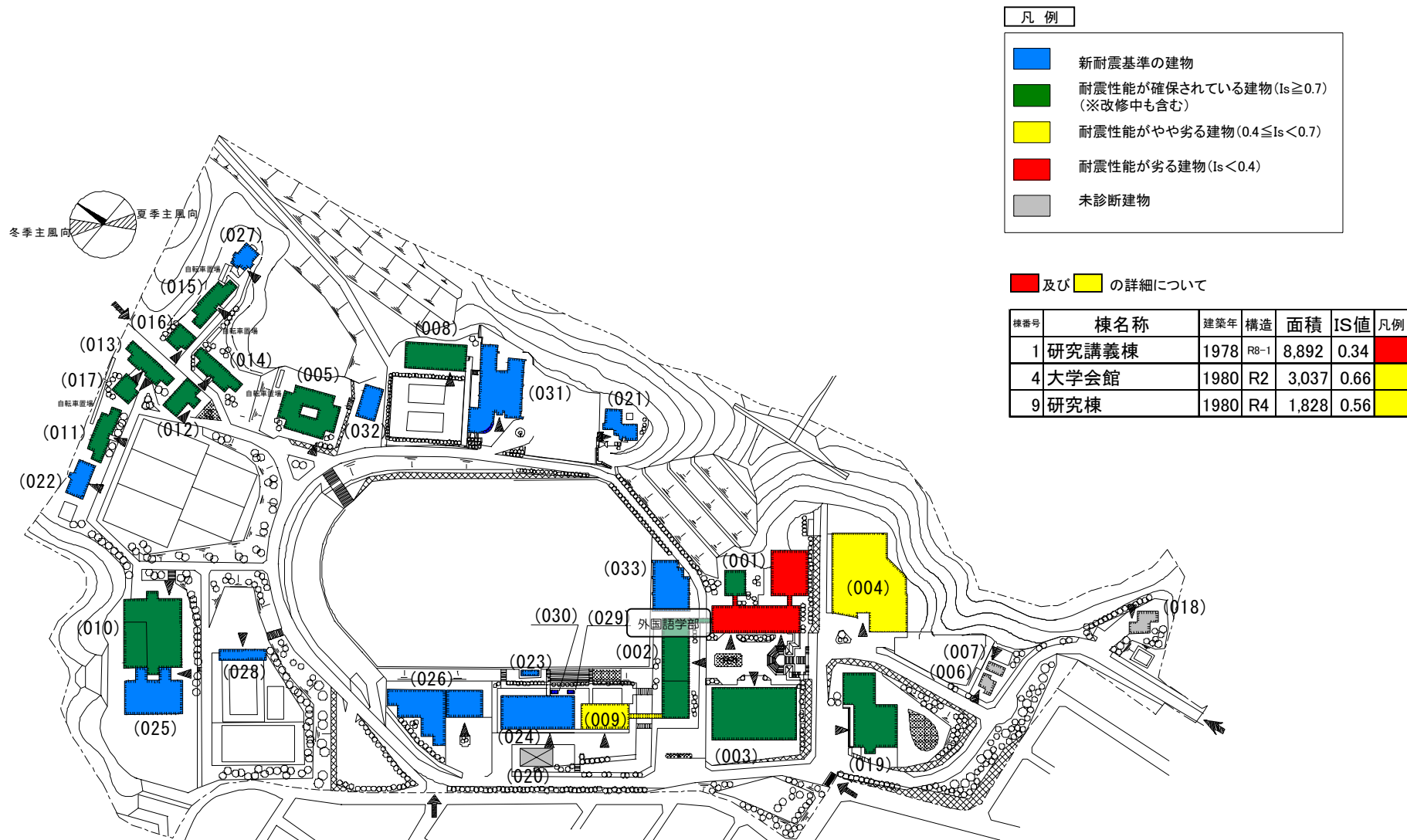
吹田地区1

棟番号	棟名称	建築年	構造	面積	IS値	凡例
005	別館	S42	R2	1,548	0.65	■
011	南館 I	S42.55	R3-1.S1	3,961	0.38	■
032	工場棟	S43	R1	545	0.39	■
			R1	192	0.46	■
039	国際交流会館吹田分館	S43	R3	537	0.55	■
050	福利厚生棟	S44.45	R1	2,264	0.44	■
052	E4E5渡り廊下	S44	R3	26	0.43	■
053	E4	S44	R4	2,356	0.27	■
054	E3E4渡り廊下	S44	R4	39	0.27	■
061	P2	S44	R4	3,895	0.64	■
071	M1	S45	R8	7,766	0.40	■
073	M3	S45-47	R2	1,662	0.42	■
075	学生実習工場棟	S44	R1	399	0.64	■
078	S1	S45	R9	6,042	0.48	■
080	S4	S45	R6	2,977	0.38	■
091	サイバーメディアセンター本館	S47	R3-1	3,490	0.50	■
097	核物サイクロロン棟	S47.50	R3-1	2,388	0.31	■
110	核物研実験研究棟	S49	R6	3,458	0.43	■
111	接合研実験研究棟	S50.55	R6	4,745	0.49	■
123	感染動物実験施設B棟	S53	R4	1,425	0.52	■
126	社会経済研究所研究棟	S53	R5	2,010	0.43	■
135	AR	S55.56	R7	6,037	0.43	■

吹田地区2

棟番号	棟名称	建築年	構造	延面積	IS値	凡例
001	薬学研究科1号館	S49	R5	9,485	0.41	■
005	人間科学部本館	S50	R5	7,424	0.34	■
014	本部共通棟	S55	R4-1	6,991	0.49	■

※平成22年6月現在



※平成22年6月現在